

帯農高生が建設現場視察 音更

十勝毎日新聞電子版 9/18掲載

2019/09/18 8:00



デモ機の運転席に座る生徒

【音更】平田建設（土幌、長谷川雅毅社長）は9日、町内の工事現場などで、帯広農業高校農業土木工学科2年生40人を対象にしたi-Constoruction現場見学会を開いた。生徒たちは担当者からICT（情報通信技術）を活用した工事方法の説明を受け、理解を深めた。

初めに、町昭和地区構造改善センターで、同社の担当者が「i-Con-」による工事概要を、日立建機日本の担当者がICT建機による施工手順についてそれぞれ説明した。

その後、バスで町内の工事現場（土幌川下流地区）へ移動。日立建機日本の担当者からICT建機デモ機（バックホー）による操作方法の説明を受け、デモ機の運転席で操作画面を確認した。

菅結汰（ゆうた）さん（16）は「現場見学会は数多く経験しているがi-Con-は初めて。進化を感じる」と話していた。長谷川社長は「業界は高齢化、オペレーター不足で、それを補うにはICTしかない。エンジニア化することで人材確保を図りたい」と話していた。（村西信一通信員）

i-Constoruction 国土交通省が掲げる生産性革命プロジェクトの一つ。測量から設計、施工、検査、維持管理まで全ての事業プロセスで3次元データを活用した情報通信技術（ICT）を導入することにより、建設生産システム全体の生産性向上を図り、魅力ある建設現場を目指す取り組み。